TESCOM

一般家庭用

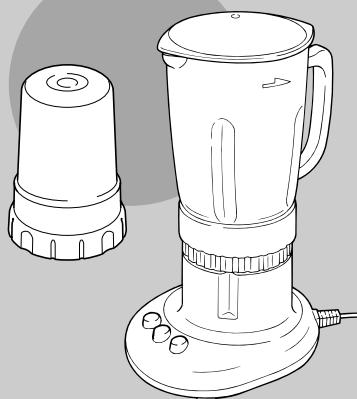
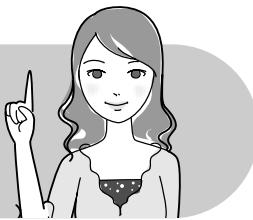
ミル&ジュースミキサー

形名：TM817

取扱説明書

保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に保管してください。

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
●注意事項は次のように区分しています。

⚠警告
誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意
誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。

（左図の場合は分解禁止）

記号は、「しなければならないこと（強制）」の内容をお知らせするものです。

（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）

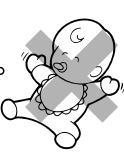
⚠警告

禁止
動作中にフタを開けない。
けがをする恐れがあります。

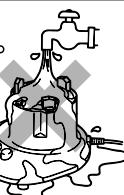
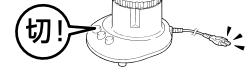
禁止
ボトルの中に指・スプーン・箸など調理材料以外のものは入れない。
けがをする恐れがあります。

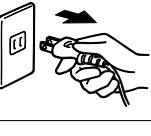
禁止
カッターや回転部を露出したままで動作させない。
けがをする恐れがあります。

禁止
動作中にフタやボトルの取り付け、取り外しはしない。
けがをする恐れがあります。

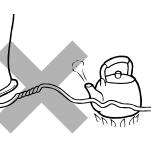
禁止
子供だけで使わせない。幼児の手の届く所で使わない。
子供や幼児がけがをする恐れがあります。

分解禁止
修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電の恐れがあります。

水場禁止
水につけない。水をかけない。ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
感電の恐れがあります。

⚠注意

必ず守る
電源スイッチの「㊇」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする。
けがをする恐れがあります。

必ず守る
コンセントから電源プラグを抜く時は、電源プラグを持って抜く。
電源プラグを傷める恐れがあります。

電源プラグを抜く
フタやボトルの取り付け、取り外し及び、お手入れする時は、電源プラグを抜いておく。
けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜く
使用後は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
火災・感電の恐れがあります。

禁止
カッターは鋭利なので直接手で触れない。
けがをする恐れがあります。

禁止
電源コードは下記のように扱わない。
- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重い物をのせない
- 熱い物に近づけない

電源コードが傷む恐れがあります。

禁止
製品は家庭用なので、業務用として使わない。

禁止
調理以外の目的では使わない。
製品が破損する恐れがあります。

禁止
ねじれが戻らなくなった電源コードは危険なため、使わない。

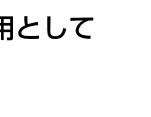
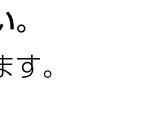
禁止
交流100V以外で使わない。（日本国内専用）
発火する恐れがあります。

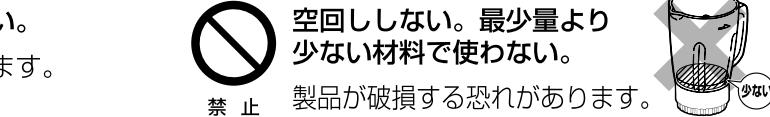
禁止
電源コードや電源プラグが傷んだ時は使わない。差し込みのゆるいコンセントは使わない。
発火・感電の恐れがあります。

禁止
ミルの場合、定格時間1分以上の連続動作はしない。（次の動作まで30分以上休ませる。）
製品が破損する恐れがあります。

禁止
動作中に移動させない。
けがをする恐れがあります。

禁止
不安定な所では使わない。
けがをする恐れがあります。

禁止
40℃以上の材料はボトルに入れない。
ボトルが割れけがをする恐れがあります。

禁止
材料が多すぎたり、その他の原因で動作が止まった時は、そのままの状態で使わない。
製品が破損する恐れがあります。

禁止
空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。
製品が破損する恐れがあります。

各部のなまえとはたらき

ジュースミキサー部

ミキサーフタ

ミキサーボトル

最大量（780ml）
ボトルの最大量を超えて材料を入れないでください。あふれます。

600ml

400ml

最少量（200ml）

目盛の見かた

目盛を確認する時は、ミキサーボトルの取っ手を右側にして確認してください。

ミキサーパッキン

ミキサーカッター

ミキサーボトル台

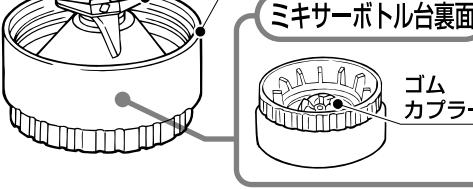
ミキサーボトル台裏面

ゴムカプラー

ミル部

ミルフタ
ミルボトルに付けると、保存容器としてお使いいただけます。

ミルボトル

容量線
上側：乾物最大容量
乾物類の材料はここまでです。
下側：液体最大容量
ジュース類はここまでです。

ミルパッキン

ミルカッター

ミルボトル台

ミルボトル台裏面

ゴムカプラー

本　体

電源スイッチ
中央の「入」を押すと動作し、左の「切」を押すと止まります。

本体底面

リセットボタン
材料の入れすぎなどで、安全装置が働いて動作しなくなった時に押します。（9ページ参照）
使用時のリセットボタンに節度はありませんが異常ではありません。

プラカプラー

本体

電源コード

電源プラグ

フラッシュスイッチ
微妙なかくはんに便利です。
押している間だけカッターが回転します。

組み立て・分解・収納

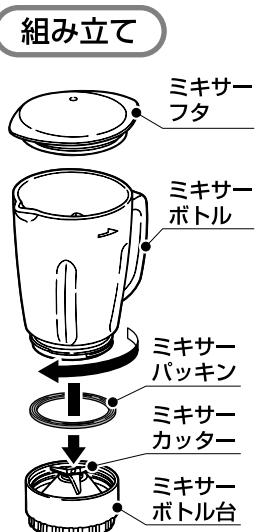
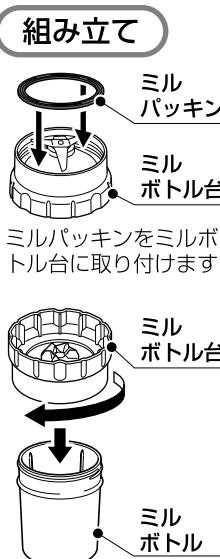
ジュースミキサー部の組み立て・分解

組み立て

分解

ミル部の組み立て・分解

組み立て

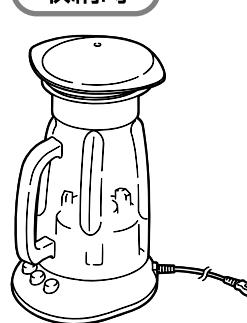
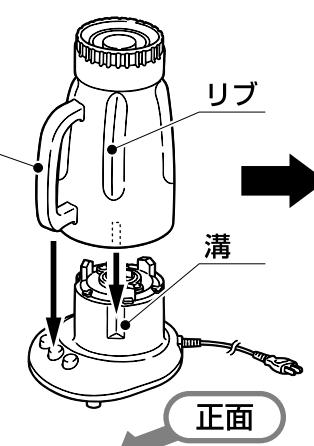
ミルパッキンをミルボトル台に取り付けます。

分解

ご注意

- パッキンに傷をつけない。
- パッキンはしっかりボトル台に組み付ける。
- カッターには直接ふれない。
- カッターはボトル台から分解しない。

収　納

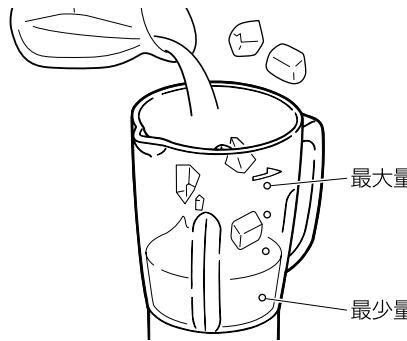
収納の際は、右図のように重ねると、コンパクトに収納できます。
（ミルボトルは収納できません。）

- 重ねる際、ミキサーボトルの**取っ手を、本体正面の位置**に合わせてください。（ミキサーボトルのリブが、本体の溝にはまります。）

ご注意

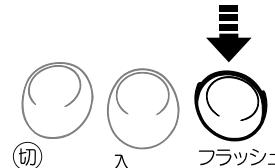
- カビなどが発生する恐れがあるのでミキサーフタ、ミキサーパッキン、ミキサーボトル、ミキサーボトル台はしっかり乾燥させてから収納する。
- 収納時、フタの裏側に回転軸から出た油が付着することがあるので注意する。

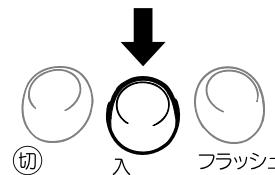
ジュースミキサーの使いかた

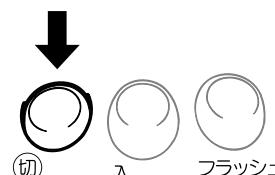
1 ミキサーボトルに材料を入れる。

- 材料は2cm角位の大きさにします。
- 必ず水分を入れてください。
- ボトルの最大量を超えて材料を入れないでください。あふれます。

2 ミキサーフタをして本体にのせ、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込む。

3 ミキサーフタを手で押さえてフラッシュスイッチを何度か押す。

- フタを押さえないと材料が飛び出す恐れがあります。

4 電源スイッチを入れる。

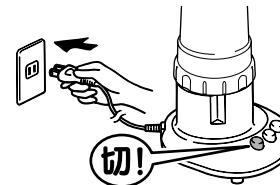
- 定格時間を守ってください。

5 お好みの状態になったら、電源スイッチを切る。

- 40℃以上の材料は入れない。
- 4分間以上続けて使用するときは、4分毎に2分間以上休止して、運転時間の合計が15分を超えないようにする。
- 空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。
- 材料が多い場合は、回数を分けて調理する。
- 電源スイッチの「切」を確かめてから電源プラグをコンセントに差し込む。
- ミキサーボトル台が本体とかみあわない時は、取り付ける向きを変えてみる。
- 材料が多すぎたり、ねばりけが強いため動作しなかったり、途中で止まった時は、すぐに電源スイッチを切り、中の材料を減らしたり、水分を加えたりしてからリセットスイッチを押し、再び電源プラグを入れる。（9ページ参照）
- 動作が完全に止まってからジュースミキサー部を本体からはずす。

ミルの使いかた

基本的な使いかた

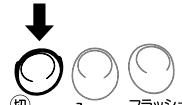
1 ミルボトルに材料を入れ、ミルボトル台を取り付ける。

- 材料に応じた最大容量以下で調理してください。

2 本体にのせ、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込む。

3 電源スイッチを入れる。

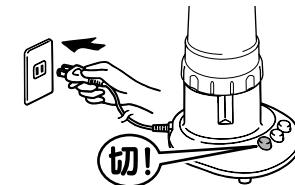
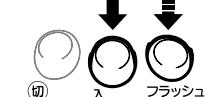
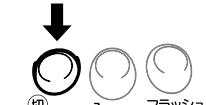
- 材料が少なく、ボトル内で跳ね上がり調理できない時は、フラッシュスイッチを使ってください。

4 電源スイッチを切り、材料を取り出す。

- ミルボトルはミルフタと合わせて、保存容器としてもお使いいただけます。

ミルでジュースをつくる時

1 ミルボトルに材料を入れ、ミルボトル台を取り付ける。

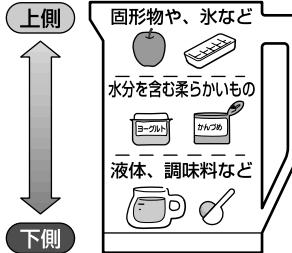
- 必ず水分を入れてください。
- 液体材料の最大容量以上、絶対に入れないでください。

2 本体にのせ、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込む。

3 様子を見ながら
①フラッシュスイッチを何度か押す。
②電源スイッチを入れる。

4 電源スイッチを切り、材料を取り出す。

- 40℃以上の材料は入れない。
- ミルの動作時間は合計1分以内にする。動作時間が合計1分に達したら、必ず休止（30分以上）してから動作させる。
- 調理したものがミルボトルの内側に付着した時は、動作を止め、電源プラグを抜き、付着した材料をさいばしなどでかき落としてから電源を入れなおす。
- 材料が多すぎたり、ねばりけが強いため動作しなかったり、途中で止まった時は、すぐに電源スイッチを切り、中の材料を減らしたり、水分を加えたりしてからリセットスイッチを押し、再び電源プラグを入れる。（9ページ参照）
- 動作が完全に止まってからミル部を本体からはずす。

調理例

表記の重さは、投入量のおおよその目安です。

材料の入れかた（ジュースミキサー部）

- 材料は水分の多い材料を下側へ、固形物は上側になるように、ボトルへ入れてください。
- にんじんなどは2～3mmにうすくスライスしてください。材料が大きいと固形物が残る場合があります。
- ミキサーボトルの最大量を超えて入れないでください。あふれます。

使えない材料（禁止材料）

ミキサー部　**氷だけの切削** ／ 固いもの・乾物類（かつおぶし、乾燥した朝鮮にんじん）／ 肉・魚類 ／ ねばりけの強いもの（とろろいもなど）

ミル部　**氷だけの切削** ／ 繊維質の強いもの（たくあんなど）／ 非常に固いもの（猿の腰掛け、根昆布、かつおぶし、炒っていない豆類、氷砂糖、黒砂糖）

ご注意

- フードプロセッサーではないので、ハンバーグやギョーザのタネ作りに使わない。

ジュースメニューとウェットメニュー（ミキサー/ミルを使用）

ボトル	メニュー	材料・分量	作りかた
ミキサーを使用／ミルを使用	バナナミルク	（ミキサー(2人分) ／ ミル(1人分)） バナナ……80g ／ 40g 卵黄（Mサイズ）……1個 ／ 1/2個 牛乳……250ml ／ 100ml ハチミツ……小さじ1 ／ 小さじ1	①はじめに牛乳を入れる。 ②フラッシュスイッチで5回。 ③約30秒連続運転。
ミキサーを使用／ミルを使用	グリーンジュース	（ミキサー(2人分) ／ ミル(1人分)） グレープフルーツ……200g ／ 75g 小松菜……30g ／ 13g ハチミツ……大さじ1 ／ 小さじ2 ミネラルウォーター……150ml ／ 50ml	①グレープフルーツは皮をむいて果肉だけを取り出す。 小松菜は根元以外の茎・葉全部を2～3ｃｍに切る。 ②フラッシュスイッチで5回。 ③ミキサーは約1分連続運転。ミルは約50秒連続運転。
ミルを使用	マヨネーズ	卵黄……1個 酢……大さじ1と1/2 砂糖……小さじ1/2 塩……小さじ1/4 こしょう……小さじ1/4 サラダ油……60ml	①ミルボトル・ボトル台の水分・油分をよく拭き取る。 ②すべての材料をミルボトルに入れ、スイッチで連続60秒動作する。
ミルを使用	ほうれん草ペースト	ほうれん草……50g だし汁……大さじ4	①ほうれん草はやわらかくゆで、水にさらした後、軽く水切りして1cmくらいの長さに切る。 ②ミルボトルに、ほうれん草・だし汁を入れ、30秒連続運転。 ※離乳食の場合は、別容器に移して加熱殺菌してください。 お好みに合わせ分量や調理時間を調整し、ペースト状態を加減してください。 また、作りおき保存はしないでください。

ドライメニュー（ミルを使用）

メニュー		材料・分量	作動時間	下準備	
ふりかけ		煮干……8ｇ（大2～3尾） 桜海老……3ｇ 煎りゴマ……大さじ1（約5～6ｇ） 焼き海苔……1/2帖 緑茶……大さじ1（約5～6ｇ）	10秒	煮干は、頭と腹をとって2～3つに折る。 焼き海苔は、2cm角くらいにちぎる。 ※5種類の材料を味のお好みで選んで、分量を調節して使います。	
粉末ダシ	煮干	煮干……20ｇ（大5～6尾）	30～40秒	頭と腹を取ってから、電子レンジで乾煎りして粗熱を取り、指でパキパキと折れる程度まで乾燥させ、3つくらいに折る。	※やや大きいかたまりが残る場合は、煮出し用パックなどのご使用をおすすめします。
粉末ダシ	ダシ昆布	ダシ昆布……10ｇ	40～50秒	フライパンで指でパキパキ折れる程度まで乾煎りし、粗熱を取り、1～2cm位の大きさに折る。 ※電子レンジでの乾煎りはこげてしまうことがあります。	
コーヒー豆		コーヒー豆……20ｇ	約15秒	焙煎したものを使う。　※濃さのお好みにより時間を調節します。	
きな粉		煎り大豆……50ｇ	約50秒	フライパンや電子レンジで乾煎りして粗熱を取る。	
生パン粉		食パン……6枚切　1/4枚	約3秒	2cm角くらいにちぎる。	

お手入れのしかた

必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。

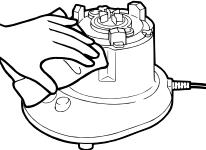
ボトル

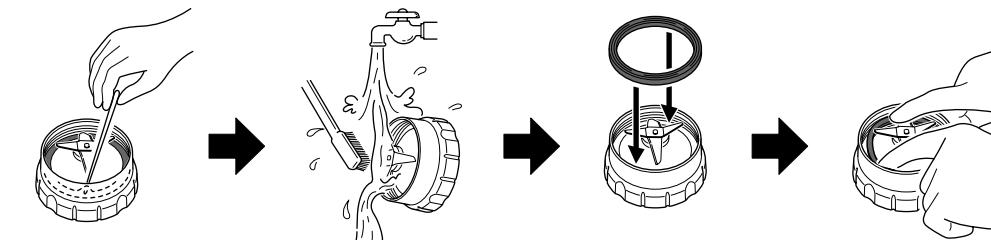
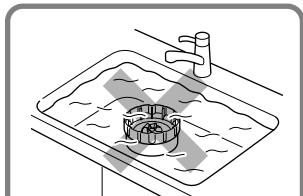
①ぬるま湯を1/3位まで入れ、台所用洗剤を数滴加えて動作させます。
②動作後、ボトルをボトル台からはずし、十分に水洗いをします。
③水切りして、水気を拭き取ります。

本　体

やわらかい布を「石ケン水」や「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よくしぼってからよごれなどを拭き取ります。

ミキサーカッター・ミキサーボトル台

- ミキサーカッターはブラシなどを使って水で洗い流した後、十分に乾燥させます。
- 裏面のゴムカプラーは防水ではないので、よくしぼったふきんでよごれを拭き取ります。

ミキサーボトル台の裏面（ゴムカプラーの付いている面）は防水ではありません。直接水をかけたり、つけ置き洗いをしないでください。

ミルボトル台・ミルパッキン

- ミルパッキンは、ミルボトル台に最初から組み込まれています。お手入れの際は刃に手が触れないように、竹串など先が細く長いものでミルパッキンをはずし、ぬるま湯を流しながらブラシなどで洗います。
- ミルボトル台はぬるま湯を流しながら、ブラシなどを使って洗います。
  ※あらかじめ容器に水と中性洗剤を入れてミルを15～20秒位動作させると、よごれが落ちやすくなります。
- ミルカッターはサビの恐れもありますので、よく水切りをして、きちんと乾燥させてください。
- ご使用の際は、ミルパッキンをしっかりと取り付けてください。ミルパッキンが正しく装着されないと、容器内で巻き込まれて、ミルパッキンが切れたり、材料が漏れる場合があります。

ミルボトル台の裏面（ゴムカプラーの付いている面）は防水ではありません。直接水をかけたり、つけ置き洗いをしないでください。

ご注意

- 本体は水につけたり、水をかけない。
- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わない。
- カッターには直接触れない。
- カッターはボトル台から分解しない。
- お手入れの後、必ずパッキンをつける。

故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（10ページ参照）

こんなときは	考えられる原因	こう処置してください
振動が大きい。 カッターの回転が遅い。 カッターが回らない。	●材料の切り方が大きすぎる。 ●材料の量が多すぎる。 ●安全装置が働いた。	●材料を小さく切りなおす。 ●材料の量を減らす。 ●リセットボタンを押す。（下記参照）
水がもれる。	●各ボトルとボトル台が正しくしめつけられていないか、しめつけが足りない。 ●パッキンが正しく取り付けられていない。	●確実に止まるまでしめつける。 ●もう一度分解して組み立てなおす。 ●パッキンを正しく取り付ける。
煙がでる。 コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

回転が止まった時は安全装置が働いています

材料の入れすぎなどでモーターに負担がかかると、安全装置が働いて動作が止まりますが、故障ではありません。次の手順で復帰させてください。

① 電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
② ボトルを本体から外す。
③ 安全装置が働いた（回転が止まった）原因を取り除く。
④ 本体底面のリセットボタンを押し込む。
⑤ ボトルを本体にセットする。

※上記の手順で復帰させても動かなかったり、たびたび止まる時は、お買い上げの販売店にご相談ください。

〈原因〉	〈処置〉
●カッターに材料が、かみ込んでいる場合	刃に注意しながら、かみ込んだ材料を取り除く。
●材料が多い場合 ●ねばりけが強い場合	材料を減らす

仕様

品名	ミル&ジュースミキサー	重量	ミキサー使用時：2.3kg ミル使用時：　1.4kg
形名	TM817		
電源	AC100V　50/60Hz	定格	ミキサー使用時： 4分動作・2分休止の繰り返し使用で合計15分まで ミル使用時： 1分動作・30分休止の繰り返し
消費電力	ミキサー使用時：160W ミル使用時：　180W		
回転数	ミキサー使用時：10,000回転/分 ミル使用時：　14,000回転/分	ボトル容量	ミキサーボトル：780ml ミルボトル：　200ml
寸法	高さ320×幅150×奥行き183（mm） （ミキサー使用時）	コード長さ	1.2m

アフターサービスについて

1.保証書について ―――― 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はお買い上げ販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼されるとき

●保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
●保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。（修理には特殊な技術が必要です。）

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。
●ご転居により、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
●ご贈答品などで、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口

受付時間：平日　9時～17時

●部品・修理についてのお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK　**0120-343-122**

●商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK　**0120-106-018**

〒390-0821 長野県松本市筑摩4－1－20　TEL 0263-26-4870　FAX 0263-25-0808

株式会社テスコム　〒141-0031　東京都品川区西五反田5－5－7

愛情点検

『長年ご使用のミル&ジュースミキサーの点検を！』

●ご使用前に必ず電源コード・カッター刃・ボトルなどに傷・欠けやヒビなどがないかお確かめください。

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
   ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
   ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ⑤本書の提示がない場合。
   ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
●当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保証書

持込修理

品　名	ミル&ジュースミキサー	形　名	TM817	保証対象	本体
保証期間	お買い上げ年月日より **1年間**	★お買い上げ年月日	年　月　日		

★お客様	ご芳名　　様 ご住所(〒　　　) お電話	★販売店	住所・店名 電話

株式会社 テスコム
www.tescom-japan.co.jp

本社／東京都品川区西五反田5ー5ー7
工場／長野県松本市筑摩4ー1ー20